

平成21年度第1回岡山県医療対策協議会の概要

○日 時：平成21年5月14日（木）15:00～16:30

○場 所：県庁3階大会議室

【新見地域への医師派遣、これからの医師確保対策】

- ・平成20年6月から始まった新見地域への医師派遣については、12月に派遣先病院が救急告示病院として指定されるなど、新見市の医療提供体制の充実に役立ち、派遣していただいた病院に対して厚くお礼を申し上げる。
- ・この1年間、新見市も派遣していただいている病院も様々な方法で医師確保のための努力を行ってきたが、現在のところ、具体的な採用のメドがたっていないのが現状だ。
- ・救急告示病院を継続していくためには、今までのような常勤医師の派遣を継続していただきたいと思っているが、それが無理ならば、例えば土曜、日曜の宿日直などの支援をしていただきたいと考えている。
- ・派遣元病院の立場から言えば、常勤医師の支援は困難である。派遣医師には、派遣元の病院に自分の患者がおり、その患者を他の医師に任せて派遣先に行くことになるからである。提案の土曜、日曜の宿日直支援や特定曜日だけの支援ということであれば、何とか対応することはできる。
- ・派遣医師の仕事の内容について、もっと任せてもらった方がよいとの印象を抱いた。せっかく専門医を派遣しているのに、十分に活躍できるような仕事を任せてもらえなかったという医師の声も聞く。今後派遣要請するのであれば、この点は改善して欲しい。
- ・様々な意見はあるが、新見地域の救急医療の確保のためには、今後とも一定の支援は必要であ

り、今回の緊急臨時的な医師派遣がこの5月に期限を迎えた後は、特定日時の医師派遣など、協力病院の実情に応じた支援を行うということ、また、その他の地域を含めた医師不足地域への支援等については、資料8、9Pの「これからの医師確保対策について」に基づき実施していくことで御了解いただいたものとさせていただきます。

【臨床研修医へのアンケート結果】

- ・雑用についての質問があるが、何をもって雑用と理解しているのかが分かりかねる。昔はかなり雑用と思われても仕方のないことを行わせていたが、最近は、それほど行わせていないのが現状と理解している。
- ・点滴を行わせているが、それを雑用と感じている研修生もいるかもしれない。点滴は雑用ではなく、研修医として行っておくことが必要なものである。

【その他】

- ・新たな臨床研修制度に係る疑問について、いくつかの発言があったが、翌日の5月15日の国の説明会での説明により確認を行うこととした。
- ・この協議会では、特定の地域だけの医師派遣の議題しか扱っていないが、県北地域の医師不足は他の地域でも同様な状況である。現在は、この協議会とは無関係に同じ圏域の中核病院にお願いして医師の派遣を行ってもらっているが、より広い地域での医師派遣を議論する必要があるのではないか。
- ・ドクターヘリの夜間搬送について、国が全国3カ所でモデル実施を行うこととしている。新見市では、現在の昼間の実施が成果をあげていることを踏まえ、ぜひ夜間搬送にも取り組んでいきたいと考えているので、よろしく願いたい。